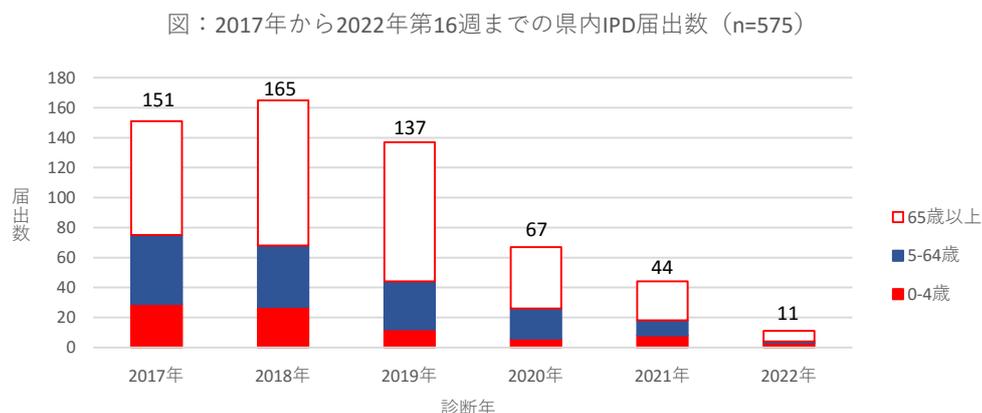


## 【今週の注目疾患】

## 《侵襲性肺炎球菌感染症》

2022年第16週に県内医療機関から侵襲性肺炎球菌感染症（Invasive pneumococcal disease, IPD）の届出が3例あり、2022年の累計は11例となった。11例のうち、性別では、男性が6例（55%）、女性が5例（45%）であった。年代別では、65歳以上が7例（64%）、0-4歳が3例（27%）、50代が1例（9%）であった。ワクチン接種歴については、0-4歳の3例すべてに、沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV13）4回の接種歴があった。65歳以上の2例で接種歴なし、その他の50代、65歳以上の6例は接種歴不明であった。

2017年から2022年第16週までに県内医療機関からIPDの届出が575例あった。2018年の165例をピークにその後は減少傾向が続いており、特に新型コロナウイルス感染症の流行が始まった2020年以降の減少が顕著である。性別では、男性349例（61%）、女性226例（39%）で男性が多い。年代別では、65歳以上が多かった（図）。



IPDは、*Streptococcus pneumoniae*が髄液・血液等の無菌部位から検出されIPDと診断した場合に医師が届け出る、感染症法に基づく5類感染症全数把握対象疾患である。2013年4月から届出の対象となった。2016年11月に検査材料（菌検出検体）の種類が変更され、髄液・血液に加え、その他の無菌部位が追加された<sup>1)</sup>。

潜伏期間は不明であり、小児及び高齢者を中心とした発症が多く、小児と成人でその臨床的特徴が異なる。小児は、肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした感染巣のはっきりしない菌血症例が多い。また、髄膜炎は、直接発症するもののほか、肺炎球菌性の中耳炎に続いて発症することがある。成人は、発熱、咳嗽、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多い。髄膜炎例では、頭痛、発熱、痙攣、意識障害、髄膜刺激症状等の症状を示す<sup>2)</sup>。

感染経路は主に飛沫感染である。人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生が感染対策となる。その他のIPD発症予防として、肺炎球菌ワクチン接種が行われている<sup>1)</sup>。2013年4月から5歳未満の小児に対する沈降7価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV7）が定期接種ワクチンとなり、2013年11月には沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV13）に置き換わっ

た。2014 年 10 月からは高齢者を対象として 23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン (PPSV23) が定期接種ワクチンとなった<sup>3)</sup>。

2023 年度までは、該当する年度に 65 歳、70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳になる者と、60 歳から 65 歳未満の者で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある者が定期接種の対象となっている。但し、既に PPSV23 を接種した者は対象とならない<sup>4)</sup>。

小児 IPD サーベイランスの報告によれば、2017 年の小児 IPD の罹患率は、PCV13 血清型による IPD が 97%減少する一方、非 PCV13 血清型による罹患率は 304%増加しており、血清型置換が示唆されている。今後も小児、成人の血清型置換の可能性があることから、原因菌の血清型分布を含め、その発生動向を注視していく必要がある<sup>3)</sup>。

#### ■参考

1) 国立感染症研究所：侵襲性肺炎球菌感染症の届出状況、2014 年第 1 週～2021 年第 35 週  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/pneumococcal-m/pneumococcal-idwrs/10779-ipd-211126.html>

2) 厚生労働省：13 侵襲性肺炎球菌感染症  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-09-02.html>

3) 国立感染症研究所：IASR Vol. 39 2018 年 7 月号  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/pneumococcal-m/1372-idsc/iasr-topic/8163-461t.html>

4) 厚生労働省：肺炎球菌感染症（高齢者）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryoku/kenkou/kekkaku-kansenshou/haienkyukin/index\\_1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekkaku-kansenshou/haienkyukin/index_1.html)